

第1回有識者等意見聴取会議 意見交換概要

1 ハンドブックの現状認識、改訂したほうが良いと思うこと

(目的、対象など)

- ・内容が子育て中の女性に偏りすぎている。介護や更年期の課題や悩みを抱えている人も多く、それらの情報や不妊治療に関する情報を充実させるべき。
- ・子育ては子供を社会に出すまで続く。それまでのサポートもある中で、このハンドブックは、小さい子供がいる働く女性向けという印象。
- ・いろいろな課題に女性一人に対応していこうと受け取れる。イラストや文章で、会社の人、配偶者の人など、みんなで考えていくイメージになる体裁にしてはどうか。
- ・周囲の働く女性に聞いたところ、女性自身も育児などは自分が頑張らないといけなと思っています。当事者の周囲にいる人も「自分事」と思ってもらえるページが必要なのではないか。
- ・全般的に、子育てする女性だけに「頑張ってくださいね」と言っている、女性をより追い込んでいるように伝わる。企業やパートナーにも読んでもらう冊子にすべき。
- ・これだけ炎上したのは、性別役割分担の考え方が感じ取られるからではないか。女性に「頑張ってください」というメッセージ性が強いものになっている。冊子の位置づけについても、女性だけでなく、男性も企業も読むべきものというスタンスに変えるべき。

(内容、表現、装丁など)

- ・「ワーキングママの心構え」の頁は、現状では、このような意識のパパは、まだたくさんいるが、「手伝っているから」という表現のように、こんな考えのパパがいていいはずはないので、パパもママも大変だということを盛り込むのがよいのではないか。
- ・言葉づかいに関して、「ワーキングママ」「イクメン」という表現は改める必要がある。(それぞれ片方の性に限定した言い方で、性別役割分担意識の表れである)
- ・表紙のピンク色や女性のためのイラストや「タバコは美容、肌荒れの大敵」との表現などから、ジェンダーバイアスが埋め込まれていると感じた。
- ・男性育休取得率のグラフで、広島県が「全国平均以上」との表現は不適切。むしろ女性に比べ非常に低く、まだまだ進めていく必要がある。
- ・社内の就業規則が法律を上回るようないい制度があっても、従業員が知らない、知ってもいても、周囲がその制度を知らないなどで、申請しても使えない、そうしたことで悩んでいる人がいて、課題がある。労働者が知っておくべき法知識などを周知する冊子としては、わかりやすくよくまとまっている。

(「よくばり」について)

- ・仕事も暮らしも両方欲張れるのが一番いいのだが、いろいろな人生、ライフスタイルがある中、欲張りすぎて苦しくなるのは大変だなと思う。
- ・本来、人は仕事も暮らしも「楽しみ」たいのであって、「よくばり」は困難を伴って一生懸命にやるというイメージがある。もう少し違う表現があってもいいのではないか。

- ・県の文脈では、「よくばり」はポジティブな言葉として用いられているが、「よくばり」の言葉だけ取り出すとマイナスのイメージとなってしまうので、改訂時は残さない方がよいのではないか。
- ・仕事と家庭の両立が「当たり前」になる社会が、目指すべきところ。
- ・表紙に「よくばり」の言葉が3つあるが、1つか2つ減らして、むしろ、「よくばり」とは何かを本来の趣旨を読み解いていける内容にしたらどうか。
- ・「よくばり」が言葉狩りにあっているような感じだと受け止めている。一部だけが取り上げられて、悪い方向に情報が伝わっている。しかし、炎上がきっかけで、知ってもらえると前向きにとらえることもできると思う。

2 改訂の方針や方向性について

(改訂の進め方など)

- ・今回の改訂に向けて意見を聴く会議や、アンケートを実施すなどの対応姿勢はよい。改訂だけで終わるのではなくて、世の中の考え方もめまぐるしく変わっているので、随時レビューしていくべきではないか。それがリスクマネジメントの一環であるとの認識を持つ必要がある。
- ・幅広い立場の方にアンケートを実施して、それを肝にして作成を進めていけばよい。
- ・アンケートは、年代によってかなり反応が違うと思うが、若い世代の意見を聞き入れていくべき。

(目的、内容、メッセージなど)

- ・雇用先や家族やいろいろな人が一緒に理解できるようになるような冊子になればいいと思うし、働く女性を応援するための環境づくりを目的としたものになっていってもいいのではないか。
- ・制度があっても、上司や周囲が理解していないと使いにくい現状があり、周りを巻き込んで、みんなが働きやすい環境整備を進めるためのツールになるような内容に変えていければいい。
- ・女性向けというより、ワークライフバランス応援というかたちにして、企業や男性にも読んでもらえる冊子にしてはどうか。
- ・女性向けとするのであれば、現行版では、冒頭ページで「労働人口が減少するから、女性活躍に期待」という文言や男性ばかりのトップ層が「応援する」などの表現であるが、女性自身にとっての女性活躍の意義を語ることが重要。また、人が働いていく上では、当事者だけではなく、周囲の人が関わる必要があるという内容を丁寧に説明すべき。
- ・女性が意思決定の場に入っていくことを応援するようなメッセージがあっても良い。

(その他)

- ・このハンドブックを見たことがない、知らなかった、報道で初めて知ったという方もいた。逆にSNSを使って周知するなどハンドブックの周知に努めてほしい。